

CSR報告書 2017



絆

トップメッセージ

新東工業グループは、1934年の創業以来、「ものづくりの心を大切に、社会に貢献したい」という思いのもと、世界に通用する技術を追求する歴史を歩んできました。

まだ「公害」という言葉さえなかった1963年、当社は、「花にも優しいモノづくり」という言葉に環境保護への思いを込めた企業広告を出しました。

それから50年余り、今や地球温暖化防止、地球環境保護といった言葉を新聞やテレビで目にしない日はないほどです。新東工業グループでも、経営理念を支える取り組みのひとつとして「グローバル社会の一員として、企業活動のすべての領域で積極的に環境負荷の低減、汚染の防止に努め、持続可能な社会の実現を目指す」という方針を掲げ、環境改善や保全活動を推進してまいりました。

さらに、今般、新東工業の創立100周年に向けて「環境経営」の方針を策定いたしました。持続可能な社会、低炭素社会の実現に向かって、グループの社員一人ひとりが心をひとつに、ものづくりや商品開発、販売といったそれぞれの持ち場でこれまで以上に積極的に活動していく指針、求心力とします。

私たちはこれからも、お客さまやお取引先さま、地域社会、株主・投資家の皆さま、社員など、すべてのステークホルダーの皆さまとの絆を大切にするとともに、ガバナンスの向上を通じて信頼され続ける企業を目指します。そして、長年当社で培われた技術と信頼をもとに、新たな未来を切り拓き、企業価値の向上に挑戦します。



取締役社長
永井 淳

経営理念「HEART」

Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology

「信頼される技術を通じて人間としての豊かさと成果を」

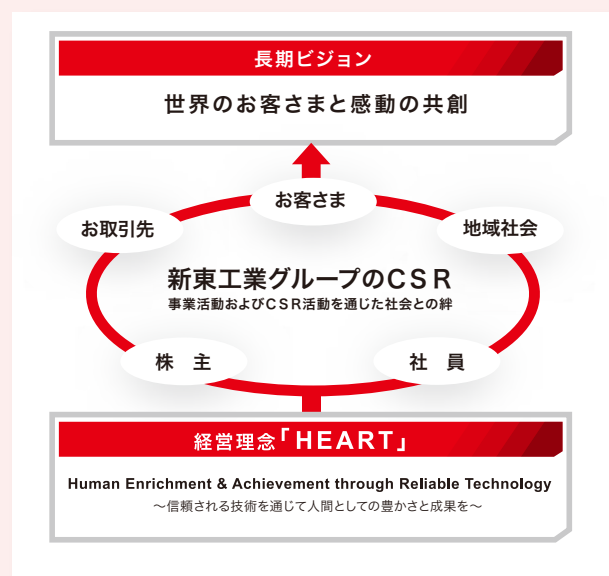
私たち新東工業はものづくりの心を大切に、社会に貢献したいという想いから、創業間もない頃より世界に通用する技術を追求する歴史を歩んできました。その技術を通じ、お客さまとの信頼関係を築き上げ、共に発展していきたいという想いを表現したものが経営理念である「HEART」です。これからも私たちは、技術を進化させることによりお客さまに、社会に貢献し続け、皆さまとの絆を深めてまいります。

“Sinto Beliefs”と新東工業グループのCSR



“Sinto Beliefs”

新東工業グループは、“HEART”を経営理念として掲げ、ものづくりの新たな価値を創造し、世界のお客さまとともに成果と喜びを分かち合うことを新東工業の使命とし、「技術の差別化」と「信頼のサポート」により関係するすべての人との絆を深め、新しい提案、新しい解決策を提供し続けることでSintoブランドを高めることを目指します。そして、この思いを表した“Sinto Beliefs”を制定し、浸透をはかっています。



新東工業グループのCSR

こうした基本方針のもと、新東工業グループはCSRを「企業の成長を通じた、社会の持続的な発展への貢献」と捉え、社会との絆を深めるための活動であると考えています。ステークホルダーの皆さまから信頼され、そして、さらに期待していただけるよう、すべての事業活動を通じて、長期ビジョンである「世界のお客さまと感動の共創」の実現を目指し、企業としての社会的責任をこれからも果たしていきます。

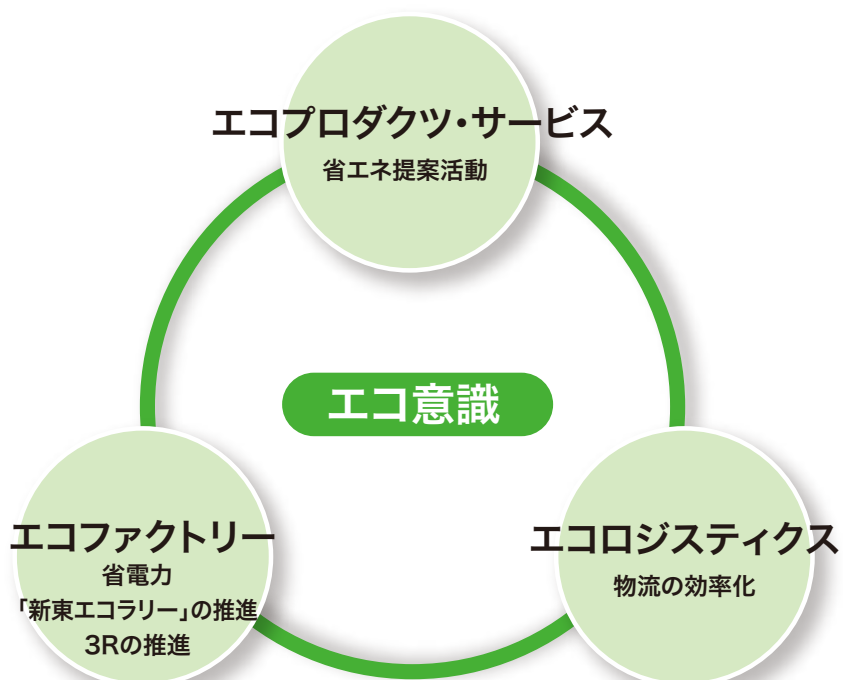
環境経営への取り組み

2015年12月に開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)にて目標が掲げられたことをきっかけに、CO₂排出量の削減への社会的関心が一段と高まりをみせています。ものづくり企業として、環境問題への取り組みは最重要課題のひとつであり、新東工業グループも社員のエコ意識を中心に「環境経営」に全社をあげて取り組んでまいります。

具体的には、低炭素社会の実現を目指して、CO₂の排出量を削減するために、「エコプロダクツ・サービス」「エコファクトリー」「エコロジスティクス」の3つの活動に、これまで以上に積極的な活動を展開していきます。そして、“子供たちの輝く未来のために”、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



「環境経営」の進め方

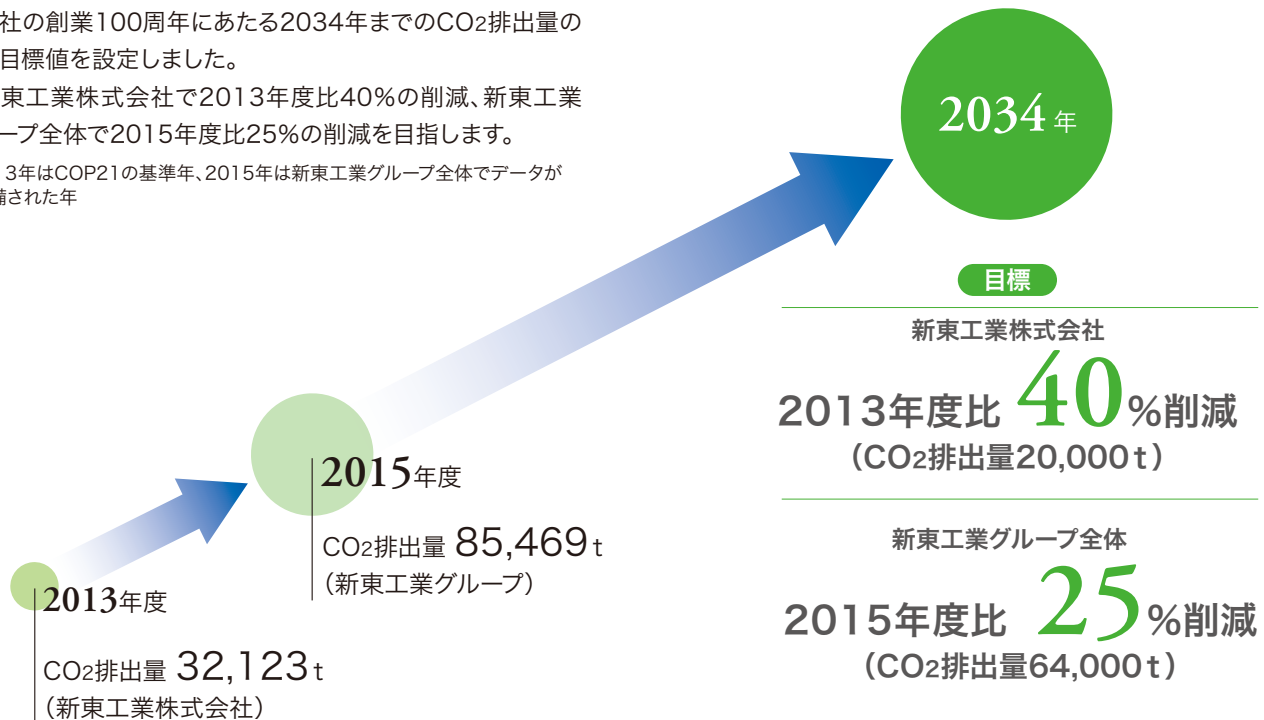


創業100周年に向けたCO₂削減計画を策定

当社の創業100周年にあたる2034年までのCO₂排出量の削減目標値を設定しました。

新東工業株式会社で2013年度比40%の削減、新東工業グループ全体で2015年度比25%の削減を目指します。

※2013年はCOP21の基準年、2015年は新東工業グループ全体でデータが整備された年



エコプロダクツ・サービス

環境に配慮した商品・サービスを提案して、お客さまのものづくりにおけるCO₂排出量の削減に貢献していきます。

商品における排出量削減の実績

2016年度

11,000t削減

設備・工程の改善提案



電気を使わず動く“からくり人形”の構造をものづくりの工程へ採り入れることにより、作業効率の向上および省エネを実現。

シンプル・スリム・コンパクトな商品の提供



傾動式金型铸造機GDCX

金型の傾動や揺動に必要なアクチュエーターを大幅に削減し、設備重量を軽量化。油圧ユニットの制御を最適化することで、省エネを実現。

省エネシステムの提案



集塵機の省エネシステム

インバータ制御により、発塵に合わせて最適な稼働をすることで、省エネシステムを実現。

エコファクトリー

2016年度に当社全事業所で電力量の見える化・細分化を行いました。
収集した電力データをもとに社員一人ひとりが工夫して省エネ活動に取り組みます。

「新東エコラリー」のレベルアップ

新東工業グループ全員で環境負荷の低減に取り組む活動です。
見える化した電力データをもとに事業所単位で電力量の削減に焦点を絞り活動していきます。

LEDへの取り替え



執務スペースで順次取り替え

蛍光灯から省エネで高寿命のLEDに取り替えることで、使用エネルギーの削減を実現。

緑のカーテンの設置



緑のカーテン

緑のカーテンを設置することで、窓からの直射日光を遮りエアコンの設定温度を見直し。



暑熱対策の実施



ミストファンの設置

水を霧状にして噴霧した時の気化熱を利用し、エアコンと比較して少ない電力で周囲を冷却。



省エネ対策の好事例集

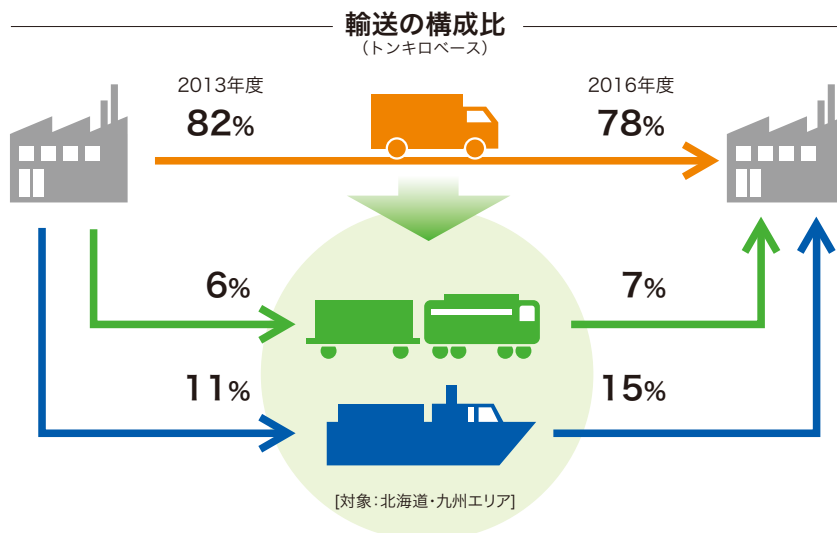


好事例集

全事業所で横断的に組織した「環境推進会」で省エネ対策の好事例を共有。

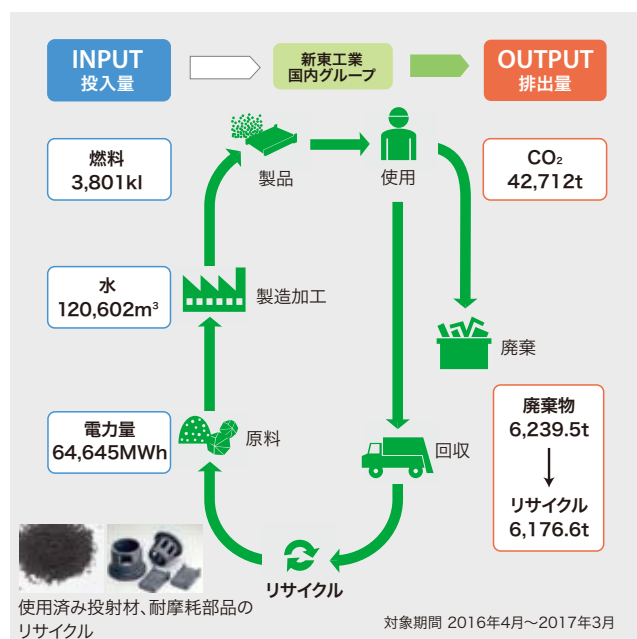
エコロジスティクス

投射材の輸送をトラックよりも環境への負荷が少ない鉄道や船に転換し、CO₂の排出量を削減します。



事業活動における全体像

新東工業グループでは、国内全事業所で、事業活動に用いるエネルギーや資源のインプット(投入量)とアウトプット(排出量)を把握することで、無駄なエネルギーの使用がないかを確認する指標とし、削減に努めています。



環境コスト

集計範囲：新東工業株式会社

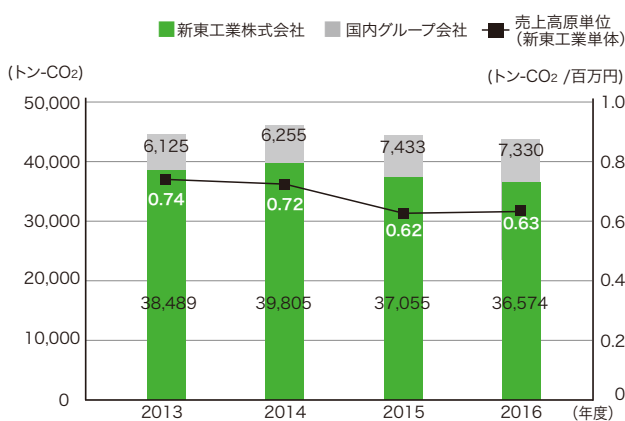
対象期間：2016年4月～2017年3月

(単位：千円)

分類	金額
環境損失	0
維持コスト	34,586
環境投資	726
合計	35,312

※環境省「環境会計ガイドライン」に準拠し算出しています。

新東工業・国内グループ会社CO₂排出量の推移

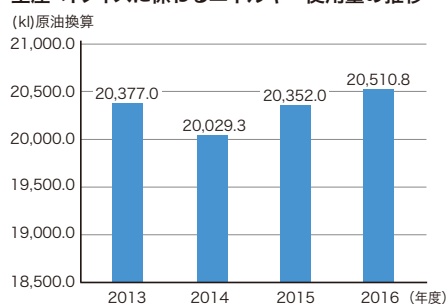


環境に関するデータの推移

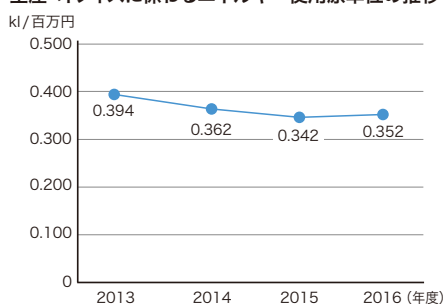
INPUT

[対象範囲] 新東工業株式会社および国内グループ会社

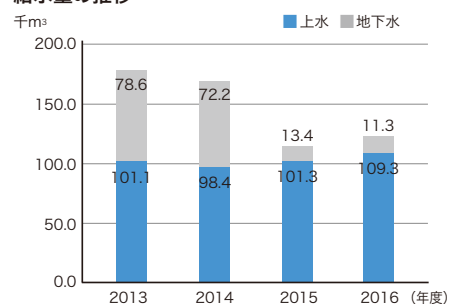
生産・オフィスに係わるエネルギー使用量の推移



生産・オフィスに係わるエネルギー使用原単位の推移



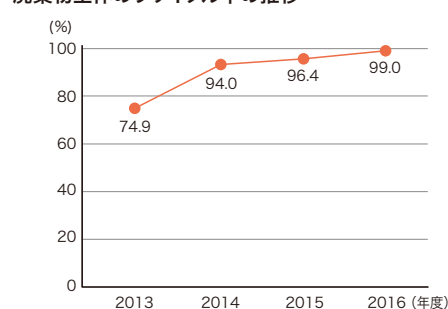
給水量の推移



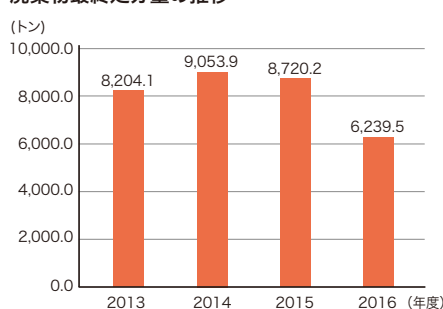
OUTPUT

[対象範囲] 新東工業株式会社および国内グループ会社

廃棄物全体のリサイクル率の推移



廃棄物最終処分量の推移



社会・地域



新東工業グループは、世界各地で良き企業市民として社会との絆を深める活動を展開しています。

膠州市政府とインターンシップ協議書を締結

当社は、2016年11月に青島新東機械有限公司がある中国山東省膠州市政府とインターンシップ協議書を締結しました。膠州市政府の若手幹部候補生の育成を目的に、2017年から5年間、毎年2名の研修生を受入れています。



膠州市政府とインターンシップ協議書締結式

地元の小学校で設備を修復

タイ新東工業株式会社は、アユタヤ近郊にある小学校で設備の修復を行いました。荒れ放題になっていた校舎の一部屋を、壁と床の材料を提供いただいた他社の方と共に教室へと生まれ変わらせました。



壁や床の修復作業

大学研究施設に無償貸与

ドイツにあるハインリッヒ・ワグナー・シントー社は、2016年9月にドイツ・フライベルグ大学鑄造研究所へ造型機を無償で貸与しました。新たな鑄造技術の研究や開発に活用されています。



造型機の無償貸与について取り上げた地元紙



フライベルグ大学名誉鑄物師の称号を授与されたハインリッヒ・ワグナー・シントー社 ビルバード社長(兼 当社 執行役員)

地元の小学校の建設費用の一部を寄付

中国にある青島新東機械有限公司は、青島市郊外の膠州市に移転して新工場を建設したことをきっかけに、地域との交流を図るため、地元の九龍小学校の建設費用の一部を寄付しました。寄付金は視聴覚室の設置にあてられ、子供たちの視聴覚教育に役立てられています。



視聴覚室の建設費用を寄付した九龍小学校の新校舎

社員の子女を支援

シントー・アメリカ社の名誉会長を務めた故ジェームス・E・ダンラン氏の功績を称え、ものづくりに携わる意思を持った社員の子女を支援することを目的とした「ジェームス・E・ダンランメモリアル奨学金制度」を2015年に創設しました。

2016年はアメリカにあるロバーツ・シントー社のドン・クボルカ社長(兼 当社 執行役員)から2名に奨学金が授与されました。



奨学金を授与された社員家族とクボルカ社長(右)

“新東いものキャンパス®”を各地で開催

私たちの暮らしの中で多くの鑄物製品が活用されていることを伝えるとともに、ものづくりの楽しさを体感してもらうことを目的に、毎年さまざまなイベントで鑄物づくりの体験ができる“新東いものキャンパス®”を開催しています。



新城市「しんしろ企業展」

台湾の学生を支援

台湾の鑄造業界にとって将来有望な人材を育てることを目的に、台湾のパートナー会社の創業家とともに、1985年に「永井・顔文教基金会」を設立しました。

毎年、多くの学生を支援しており、2016年度の奨学金授与式が、台湾鑄造学会の定時総会の中で開催され、学生へ授与しました。



奨学金を授与された学生

研究者の顕彰と育成に協力

科学技術の振興と社会経済の発展を目的に、公益財団法人永井科学技術財団を設立し、素形材に関連する科学技術の発展と振興を目的とした助成、および国際交流の促進をはかる活動を行っています。

毎年、各分野において多大な功績を残された研究者や学術研究団体を表彰し、助成金を贈呈しています。そのほか、次代を担う青少年の科学技術育成教育に取り組んでいる団体への支援も行っています。

お客さま



安全な製品の提供

当社は、「安全はすべてに優先」という考えのもとに、すべての製品に対して設計段階からリスクアセスメントを実施しています。国内外の法令・規格および当社の安全規格に沿って危険要因を抽出し、リスク低減対策を行い安全な製品の提供に努めています。

また、製品安全設計の公的資格である「セーフティアセッサ」資格の取得を進めています。2016年度は新たに9名が取得し、現在101名となっています。



セーフティアセッサ研修

お客さまに安心をお届けするために

当社は、「お客さまの設備を止めない」ことに取り組んでいます。より良いものづくりをお手伝いするために、平常時の管理やIoTを活用したシステムによる予防保全と事後保全の両面からサポートしています。お客さまの“お困りごと”を解決し、設備をより安全に、より安心してお使いいただける「SINTO SUPPORT SYSTEM™」の提案に全力で取り組んでいます。

※「SINTO SUPPORT SYSTEM™」は当社のお客さまサポートの総称です。

品質保証

当社は、「品質方針」に基づき、信頼される技術で、信頼される製品を、世界中のお客さまに提供し続けるために、製品やサービスの品質向上に取り組んでいます。

「二度と同じ不具合を起こさない」をスローガンに、製品ごとの不具合履歴管理や徹底的な真因追求を実践し、取り組み事例を全社に展開し、お客さま満足の向上につなげています。

2016年11月にISO9001の認証機関を統一し、認証を取得いたしました。今後は全事業所が同じ基準で製品・サービスの品質向上に取り組んでまいります。

社員



「健康経営」の推進

当社は、2017年2月に、経済産業省が新たに創設した「健康経営優良法人2017(ホワイト500)」に認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。健康経営に取り組む優良な法人を見える化することで、社会的に評価を受けることができる環境を整備することが目標とされています。

なお、「ホワイト500」とは大規模法人部門において、優良な健康経営を実践している先進的な企業を2020年までに500社以上認定する予定で、2017年は全国で235社が認定され、東海3県では当社を含む13社が認定されました。

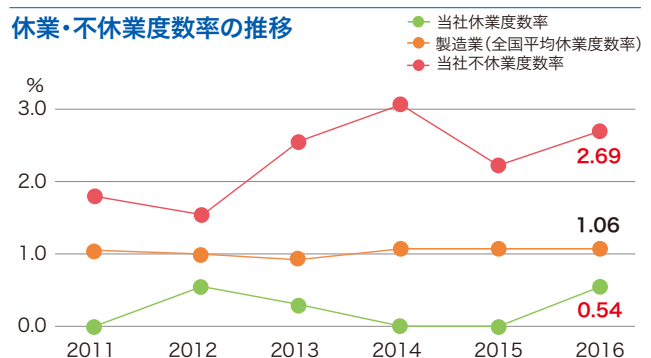
今後も「所定外労働時間の削減」、「年次有給休暇の取得促進」、「心身のヘルスケア」など、健康の維持・増進、ワークライフバランスの実現に向けた施策を更に進め、継続的に健康経営優良法人に認定されるよう積極的に取り組んでまいります。



労働安全のために「人づくり」を強化

当社では、OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の認証を当社7事業所にて取得し、自主的に安全活動ができる職場環境を整えています。また、社員や取引先の関係者を対象に、当社技能安全研修センターで危険予知能力の向上や、安全衛生管理に関する教育の場を設け、次世代を担う人材育成を行っています。2016年度はお取引先の受講者が70名を数え、過去最高となりました。引き続き、労働災害ゼロを目指して活動していきます。

休業・不休業度数率の推移



株主・投資家



適切な情報開示とIR活動

当社は国内外の投資家の皆さまとのインベスター・リレーションズ(IR)を重視し、企業経営と事業活動に関する情報の当社IRサイトへの掲載や、半期決算ごとのアナリスト・機関投資家向けの説明会の実施等を通じ、迅速かつ正確な情報開示に努めています。

また、株主・投資家の皆さまだけでなく、広く情報を開示するため、当社ホームページなどを通じて、企業経営や事業活動についての情報を積極的に開示しています。

2016年8月に当社豊川製作所で、機関投資家さま向けに工場見学会を実施し、7社9名の方にご参加いただきました。当社事業の現状や今後目指していく方向性などについて、活発な意見交換を交わすことで、当社に関する理解を深めていただきました。また、12月には個人の株主さまにアンケートを実施し、480名の株主さまから貴重なご意見、ご感想をいただきました。今後の情報開示やIR活動に生かしてまいります。

サプライヤー



お取引先へCSR活動を展開

当社は多くのお取引先の皆さまのご協力を得ながら、資材調達や製品の生産を行っております。

CSR活動においては、「お取引先さまCSRガイドライン」「グリーン調達ガイドライン」を制定し、セミナーを開催して公平・公正な取引、法令遵守はもとより「安全・品質・環境」についての考え方の理解と共有に努めています。2016年度は

情報交換会に60社の方にご参加いただいたほか、合同の防災訓練や当社技能安全研修センターを使った研修会などを行いました。今後も、お取引先さまとのより良い協力関係を築き、お取引先さまとともに安定的かつ持続可能な調達を継続していきます。

事業継続計画(BCP)

近年、大規模な自然災害が多発しています。当社では緊急事態に遭遇した時に、取引先や地域社会、社員とその家族に対して何ができるかを考え、また、お客さまへの供給責任を果たすため、部品・消耗品を備蓄して供給に備えるとともに、事業継続計画(BCP)を策定し、防災・減災に向けた活動に継続して取り組んでいます。

また、社員一人ひとりが災害発生時に適切な対応を取れるよう、初期消火や救命救護のスキルを習得するための講習会や訓練を定期的に実施しています。

2016年度は、当社全事業所において、より実践的な訓練を実施しました。まず、災害や事故、火災が起きた際にどのような状況になるのかをイメージする「図上訓練」を実施し、課題を洗い出しました。その上で、各課題への対策を立案し、それをもとに「実地訓練」を行いました。訓練では、救命救護訓練や初期消火訓練、電気・ガス・火気を遮断する二次災害防止訓練を実施しました。当社豊川製作所では防災対策本部訓練を実施し、各事業所との被害状況を把握するための連携方法と、復旧対策の立案訓練を行いました。

その他、当社全事業所で結成されている自衛消防隊による初期消火、救命救護の実演競技大会を2016年9月に初めて開催しました。

2016年度 防災訓練の開催回数

4 回

(国内グループ会社、主要仕入先含む)



救命救護訓練



図上訓練

コンプライアンス推進の取り組み

新東工業グループでは、すべてのグループ会社で经营理念を共有することを目的に「Sinto Beliefs」を定め、そのなかに企業倫理行動指針を掲げています。グループ会社の社員一人ひとりが法令や国際ルールなど企業活動に関連するルールを学び遵守し、高い倫理観を持ち日々の職務に取り組む指針としています。

また、コンプライアンス意識の向上と事案発生の予防を目的とした教育を新入社員研修や階層別研修で実施しています。

新東スピークアップ制度の充実

新東工業グループは、万一、不正行為があった場合に、当社および国内グループ会社の社員が当社の法務部門または外部の弁護士に対して直接通報を行うことができる「新東スピークアップ制度」を設けて運営しています。通報者が不利益を受けることがないよう、社内規則を定め、制度が利用されやすい環境を整備しています。

リスクマネジメント

新東工業グループを取り巻く主要なリスクに関しては、リスクマップを作成・見える化するとともに、リスクカテゴリーごとに内容の把握、分析、対応策の立案・実施を行っています。

会社概要

商 号	新東工業株式会社
本 社	名古屋市市中村区名駅三丁目28番12号
設 立	1934年(昭和9年)10月2日
代 表 者	取締役社長 永井 淳
資 本 金	57億52百万円 (2017年3月31日現在)
従業員数	単体: 1,647人 連結: 3,839人 (2017年3月31日現在)
子会社 関連会社	52社(海外含む)

事業概要と主要製品

● 鋳造事業

鋳造プラント、生型造型設備、生型砂処理設備、自硬性設備、Vプロセス設備、アルミ鋳造関連設備、中子造型機、注湯機・溶湯搬送設備

● 表面処理事業

ショットブラスト装置、エアブラスト装置、ショットピーニング装置、投射材、バレル研磨機、ブラシ研磨機、メディア・コンパウンド、耐摩耗部品

● 環境事業

集塵装置、排ガス処理装置、廃水処理装置、ブラストラック

● 特機事業

サーボシリンダ、サーボプレス、電気特性検査装置、自動車部品検査装置、混合・分散システム、座標測定機、寸法測定機、混練機、空気輸送装置

● 搬送事業

シザーリフト、コンベアシステム、クリーンシステム

● セラミックス事業

軽量・超精密測定器具、セラミックス応用部品

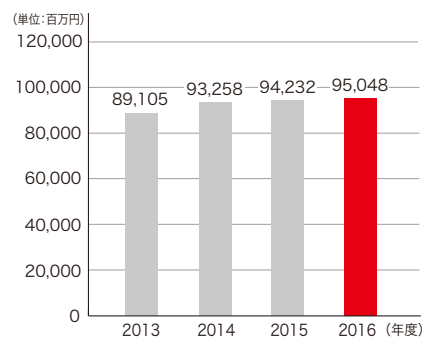
グローバル展開

■ 海外の主な製造・販売サービス拠点
— 11ヶ国26拠点 —

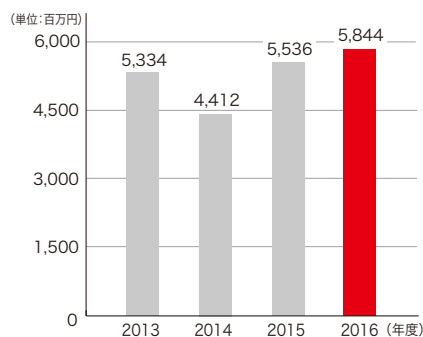


連結業績の推移

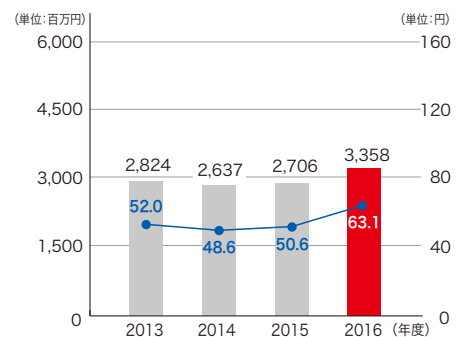
● 売上高



● 経常利益



● 当期純利益 / 1株当たり当期純利益



ブランドスローガン

New Harmony >> New Solutions™

「New Harmony >> New Solutions™」は、新東工業グループの意志であるブランドコンセプトの「技術の差別化」・「信頼のサポート」をグローバルに宣言するブランドスローガンです。

新東工業グループはステークホルダーとの絆を深め、より強い信頼関係を築くことを目指しています。そのために「技術力」と「お客さまをサポートする力」を結び、絶えず進化させ、常に新しいソリューションとベネフィットを提供し続けます。そして幅広い技術の融合により、新しいソリューションと価値を創造します。

こうした企業活動により社会および環境との調和に貢献していきます。



CSR報告書2017

- 報告期間 2016年4月1日～2017年3月31日
- 報告対象範囲 新東工業グループの全活動
※部分的に新東工業株式会社(本文中では「当社」と表記)に限定している場合もあります。
- 発行日 2017年6月23日
※前回2016年6月発行、次回2018年6月発行予定
- お問合せ先 コーポレート部

新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279
www.sinto.co.jp



「Company Song」
新東工業グループ共通の思いを表現し、
企業理念の浸透をはかっています。



この報告書は、再生紙を使用しています。インキは植物油系溶剤を使用することで、VOC(揮発性有機化合物)成分を1%以下に抑えています。